

齋田算数理科教室 2018年度入会案内

(2017年10月版)



齋田算数理科教室のコンセプト・塾長からのごあいさつ

はじめまして。『齋田算数理科教室』塾長さいだ まさひろの齋田雅彦と申します。この度は、当教室にご興味をお持ちくださいまして、誠にありがとうございます。

2013年に私がこの教室を立ち上げる迄は、都内の算数専科塾に勤務し数多くの生徒と接してきました。様々な子どもたちと出会い、話し合い、悩み、共に頑張ってきました。この教室を立ち上げてからも、子どもたちからいろいろなことを学びながら現在に至っています。

4教科の中でも特に算数は、「ひらめき力」と「想像力」が必要な教科です。これらは決して一朝一夕に獲得できるものではなく、日々の鍛練から醸成されるものです。そしてこの鍛練は、低学年のうちに「習ったことを正しく受け取る知識の吸収」と「諦めずに粘り強く考え抜こうとする力」が備わっていることが前提です。問題を読んで誤った解釈をしてしまったり、途中で問題を投げ出してしまったりというのは、この時期の鍛練が不足しているのです。五感をフルに活用し、いろいろなことをどれだけ感じたり考えたりしてきたかということが大切なのです。

また、身に付けたことを自分なりに咀嚼して利用できるようにするためには、人から教わるだけではなく、自分で試行錯誤することが何より大切です。勉強とはおおよそ関係がないようなことでも、自ら強い好奇心と意思をもって一つひとつの課題に粘り強くぶつかっていくという経験を低学年のうちにたくさんさせてあげることが大切です。2015年度から低学年のクラスをスタートさせたのは、このような背景があります。

4年生や5年生になって、学校の勉強が急に難しくなったと感じることがあると思います。うちの子はどうも学校の授業についていけないなどは、恐らく本人がいちばんわかっていることだと思います。高学年になると脳がある程度形成されてきていますから、体系立てて説明をすれば理解ができるようになってきます。理屈ではなく理論をきちんと理解すれば、目の前がパッと開ける感覚がやってくるはずです。始めるのに遅いということはありません。必要だと思ったときが始めどきです。そしてそれを継続することが何より大切です。

塾長経歴紹介:

1965年生まれ

大学時代

- …国立大学にて生物学(魚類の分類)を専攻。アルバイトとして、地元進学塾として、で、中1~3の集団授業(全教科)を3年間担当

1989年~2008年

- …20年間、外資系IT企業に営業職として奉職

2009年~2013年

- …都内の算数専科塾にて、小2~小6の集団授業を5年間奉職

2013年4月

- …「齋田算数理科教室」を御茶ノ水に開校し、現在に至る

執筆書紹介:

『教え方のコツがわかる!“なぜ?”に答える 小学校6年分の算数』(ナツメ出版)

趣味:

きのご観察、天文(特に流星観測)、篆刻、模型作り



齋田算数理科教室の指導方針

- 低学年（1～3年生）
考える楽しさを体感し、パズルや論理的思考を試される問題を通して、粘り強く考え抜く習慣とセンスを身に付けられるような授業構成です。授業では「なぜ?」「どうして?」を大切にします。前述のとおり、知識を身に付けるのではなく、知識の吸収力の伸びしろを十分に伸ばすことに主眼を置いた授業を行います。
- 高学年（4～6年生）
与えられた条件を的確に整理し、推理予測する訓練を行います。詰め込み式の知識ではなく、論理的に考えられるような素養を養います。小4～小6で、同じ単元を3年間連続行うことで知識の定着を図ります。また、ここで得た内容はすべて中学数学に生かされます。毎回、授業開始30分間は、前回の復習ミニテストを行います。

各講座の概略（算数）

- 小1算数 …… ロジコテキストを使用した、隔週授業です。
- 小2算数 …… 「きらめき算数脳」を使用した、隔週授業です。
- 小3算数 …… 「きらめき算数脳」を使用した、隔週授業です。4年生以降につながる副単元も扱います。
- 小4算数 …… 学校で習うであろう全単元を体系的に説明します。比と平均を使っているような問題をどんどん解いていきましょう。「①解法」が登場する学年です。
- 小5算数 …… 小4算数よりも内容が少し難しくなります。「①解法」を使いこなせるようになるような問題がたくさん出てきます。
- ハイ5算数 …… 「中学受験を予定している」「学校の算数では飽き足りない」というお子さんにお勧めです。毎週授業です。
- 小6算数 …… 小4算数、小5算数の総まとめを行います。中学に入って、受験組とほぼ同じ学力レベルになっていただくことを目標にしています。毎週授業です。
- ハイ6算数 …… 「受験生がやる過去問と同じレベルの問題にチャレンジしたい」「進学塾に行っているが、劇的な解法を知りたい!」というお子さんに最適です。進学塾でも習わないような「解法」がたくさん出てきます。毎週授業です。
- 中1数学 …… 学校で習う全単元を、体系的に分かりやすく解説します。
- 中2数学 …… 全員が笑顔になってすっきり帰ってくださることを目標にしています。
- 中3数学 …… いよいよ最終学年。高校受験も見据えた授業を行います。

ヒラメキ算数

- 解き方がシンプルだから、速く正しい答えに行きつく
- 計算よりも論理的な思考を重視した授業内容

トキメキ理科

- 実験や体験を中心にした、体で理解する理科
- 4年…自然から学ぶ
- 5年…基礎的な内容を理解する
- 6年…基礎を理解し応用につなげる

ワクワク工作（都内初の本格的な工作教室）

- 緻密な作業を確実にこなすことによる慎重さの養成
- 作業手順を常に考えるプロセス思考の強化
- 失敗から成功への方法を画策



2018年度 週間時間割表 (案)

齋田算数理科教室

年間カレンダー毎週授業の奇数No.の授業が行われる週

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
					小4 算数 B 10:10～ 11:30	小4 算数 C 10:10～ 11:30
					小5 算数 B 11:50～ 13:10	小5 算数 C 11:50～ 13:10
					小中学工作 13:40～ 15:00	小3 算数 13:40～ 15:00
				小1 算数 A 15:20～ 16:40	小6 算数 B 15:20～ 16:40	小6 算数 C 15:20～ 16:40
小4 算数 A 17:00～ 18:20			中2 数学 A 17:00～ 18:20	小5 算数 A 17:00～ 18:20	ハイ5 算数 A (講義) 17:00～ 18:20	ハイ5 算数 B (講義) 17:00～ 18:20
小6 算数 A 18:40～ 20:00			中3 数学 18:40～ 20:00	小E n 理科 A 18:40～ 20:00	小2 算数 A 18:40～ 20:00	ハイ6 算数 A (講義) 18:40～ 20:00
中1 数学 A 20:10～ 21:30			中学理科 20:10～ 21:30	中1 数学 B 20:10～ 21:30	中2 数学 B 20:10～ 21:30	

年間カレンダー毎週授業の偶数No.の授業が行われる週

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
					小4 算数 B 10:10～ 11:30	小4 算数 C 10:10～ 11:30
					小5 算数 B 11:50～ 13:10	小5 算数 C 11:50～ 13:10
					小E n 理科 B 13:40～ 15:00	小1 算数 B 13:40～ 15:00
				小2 算数 B 15:20～ 16:40	小6 算数 B 15:20～ 16:40	小6 算数 C 15:20～ 16:40
小4 算数 A 17:00～ 18:20			中2 数学 A 17:00～ 18:20	小5 算数 A 17:00～ 18:20	ハイ5 算数 A (演習) 17:00～ 18:20	ハイ5 算数 B (演習) 17:00～ 18:20
小6 算数 A 18:40～ 20:00			中3 数学 18:40～ 20:00	小H i 理科 A 18:40～ 20:00	小H i 理科 B 18:40～ 20:00	ハイ6 算数 A (演習) 18:40～ 20:00
中1 数学 A 20:10～ 21:30			中学理科 20:10～ 21:30	中1 数学 B 20:10～ 21:30	中2 数学 B 20:10～ 21:30	

※クリーム色の枠は毎週行われる講座、緑色の枠は隔週で行われる講座です。

※毎週講座のA、B、Cクラスは、全く同じ内容の授業を行います。隔週講座もA、Bクラスは週をまたぎますが、同じ授業内容です。

※「ハイ5算数」は、奇数No.週に講義、偶数No.週に演習を行います。「ハイ6算数」は1週目から演習です。

※「小学Entry理科」は3～5年生、「小学High理科」は5～6年生向けの内容とお考えください。(小5はどちらでも結構です)

2018年度 年間カレンダー

齋田算数理科教室

授業月	隔週授業	毎週授業	月	火	水	木	金	土	日
2月	No.1	No.1	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4
		No.2	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10	2/11
	No.2	No.3	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18
		No.4	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25
3月	No.3	No.5	2/26	2/27	2/28	3/1	3/2	3/3	3/4
		No.6	3/5	3/6	3/7	3/8	3/9	3/10	3/11
	No.4	No.7	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18
		No.8	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25
4月	No.5	No.9	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1
		No.10	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8
	No.6	No.11	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15
		No.12	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22
5月	No.7	No.13	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29
		No.14	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6
			5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13
			5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20
	No.8	No.15	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27
		No.16	5/28	5/29	5/30	5/31	6/1	6/2	6/3
6月	No.9	No.17	6/4	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10
		No.18	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17
	No.10	No.19	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24
		No.20	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1
7月	No.11	No.21	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8
		No.22	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15
	No.12	No.23	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22
		No.24	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29
8月			7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5
			8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12
	No.13	No.25	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	8/19
		No.26	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26
9月	No.14	No.27	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	9/2
		No.28	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9
	No.15	No.29	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
		No.30	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	9/23
10月	No.16	No.31	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30
		No.32	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7
	No.17	No.33	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14
		No.34	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21
11月	No.18	No.35	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28
		No.36	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4
	No.19	No.37	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11
		No.38	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18
12月	No.20	No.39	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25
		No.40	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2
	No.21	No.41	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9
		No.42	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16
1月	No.22	No.43	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23
			12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30
			12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6
	No.23	No.44	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13
		No.45	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20
		No.46	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27

※夏休み(7/30~8/12)と冬休み(12/24~1/6)は通常授業はお休みです。この期間は「特別講座」を予定しております。

※毎週火曜日と水曜日はお休みです。完全に教室が閉まっているのは、背景が濃いグレーになっている日にちです。

※祝祭日にも通常授業があります。

各講座の詳細内容

算数講座

①小1算数（隔週）

ロジコのテキストを使用した授業を行います。1問1ページの問題をどんどんスピーディーに解いていきます。数量の大小関係が把握できるような問題や、図形の切断の問題などがまんべんなく盛り込まれています。ご自宅でも類題を作ってゲーム感覚で楽しんでください。

テキスト：ロジコAコース、Bコース

②小2算数（隔週）

文書読解力、状況把握力、論理的に考える力を強化できるテキストを使用いたします。キャラクターがゲーム感覚で戦うような内容になっていますので、いろいろな場面ごとに与えられた問題をどのように処理していけばよいかを鍛えるには最適です。なかなか良くできたテキストです。かけ算九九をマスターする時期もあるので、ご自宅でトレーニングしてみてください。九九をマスターすると算数の世界がグッと広がります。九九を早く覚えてもらえるように「素数ボールゴルフ選手権大会」などを行うことがあります。

テキスト：「きらめき算数脳 小学2・3年」（市販テキスト）

③小3算数（隔週）

「小2算数」と同じテキスト（1学年上）を使用します。来年の「小4算数」を見据えて、副単位として比や平均などにつながる授業を後半30分間行います。小3は脳が飛躍的に成長する時期でもあります。今この時期に脳のある部分を刺激してあげることで、一生使える発想の豊かさを手に入れることができます。

テキスト：「きらめき算数脳 小学3・4年」（市販テキスト）

④小4算数（毎週）

分数や小数の基本から始めて、夏休み明けには文章題に入ります。早い学校では「つるかめ算」や「分配算」など「□□算」というのが登場してくる学年で、算数が急に難しくなったと感じる時期です。与えられた条件を絵に描いて整理し、絵を見て式を立て、絵を見て答えが正しいかどうか検証するという訓練をひたすら行います。高学年になり難問にぶち当たっても、絵がちゃんと描ける子は問題を難なくこなしていけます。毎回、前回単元の復習「ミニミニテスト」があります。

テキスト：「新小学問題集 算数 ステージⅠ」（教室一括発注テキスト）

⑤小5算数（毎週）

さらに学校の算数が「難しくなった」と感じる学年です。「うちの子、やばい…」と思ったら是非扉を叩いてください。「小4算数」同様、問題を読んでから、まずは絵を描いて状況整理させることは同じです。「小4算数」に比べたら少々ひねった問題が登場しますが、絵を見ていると解き方がひらめいてきます。中学受験を想定している生徒は「ハイ5算数」に進んでください。

毎回、前回単元の復習「ミニミニテスト」があります。

テキスト：「新小学問題集 算数 ステージⅡ」（教室一括発注テキスト）

⑥ハイレベル小5算数（毎週）

中学受験を意識したクラスです。この講座のほぼ半分ぐらいの生徒が受験をします。受験をしない子でも「学校の算数だけではもの足りない。もっと体系的に全単元を教えて欲しい！」という子はお越してください。受験生は進学塾に軸足を置いて、劇的な解法を学んで行ってください。奇数ナンバー週に講義を行い、翌週の偶数ナンバー週に演習を行います。各単元とも2週間でワンセットです。「えっ、どうして学校ではこの解法を教えないの？」という驚きが待っています。もちろん、何故それで解けるのかも解説します。翌年は「ハイ6算数」にお進みください。過去問中心です。「小5算数」の翌年は「小6算数」か「ハイ5算数」をお選びください。「ハイ5算数」の方が、レベルが高い授業になります。

テキスト：「単元別オリジナルテキスト」（毎回「講義」の回に配布）

⑦小6算数（毎週）

内部進学の子はこちらにお越してください。中学に入ってから、受験で入ってきた子と同等またはそれ以上のレベルにまで算数力を高めることを目的にしています。小4小5算数で習った内容の集大成を行います。この講座で習ったことは、中学に入ってからそのまま使えるものばかりです。最後の数回は中学の先取りを行います。受験のピリピリ感がないので、和気あいあいとしたクラスです。毎回、前回単元の復習「ミニミニテスト」があります。

テキスト：「新小学問題集 算数 ステージⅢ」（教室一括発注テキスト）

⑧ハイレベル小6算数（毎週）

「ハイ5算数」を受講していることが前提です。6年生でも「ハイ5算数」を受けていない子は「ハイ5算数」を選択してください。実際、「ハイ5算数」の生徒の半分は6年生です。「ハイ5算数」とは違い講義は無く、いきなり毎回単元別の演習（過去問）です。有名中学校の厳選した過去問だけをテキストにまとめています。難問をバンバン解いていく感動を味わってください。

テキスト：「単元別オリジナルテキスト」（毎回「講義」の回に配布）

⑨中1数学（毎週）

中学に入って最初につまづくのが「正負の数」です。ここをクリアすると割とすんなり進んでいけるのですが、きちんと理解をしていないと「文字式」や「方程式」になると大変悲惨な状況に陥ってしまいます。ゆっくり丁寧に説明をしますので、全員が頭の中がすっきりして笑顔で帰ってくるクラスです。ご自宅では必ず復習をお願いします。

テキスト：「体系数学 代数・幾何 中学1・2年」（市販テキスト）

⑩中2数学（毎週）

最初の4回ほどは、中1の復習からスタートします。忘れかけている記憶を呼び覚ましましょう。連立方程式、一次関数、証明など、「中1数学」に比べて内容がガクンと難しくなってきます。ひとつひとつの事象について全員が確実に理解できるように、きっちり丁寧に責任をもって説明をします。

テキスト：「体系数学 代数・幾何 中学1・2年」（市販テキスト）

⑪中3数学（毎週）

いよいよ中学の最高学年です。因数分解、平方根・解の公式、二次方程式、相似がやってきます。公式を多用することが多くなり、テクニックさえ覚えてしまえば機械的に面白いようにどんどん正答が出せます。中1中2で習った事を使う機会が増えてきますので、総復習で確認しましょう！

テキスト：「完全攻略 中3数学」（市販テキスト）

各講座の単元表は、別途お配りいたします。ホームページから印刷していただくこともできます。

工作講座

⑪小中学工作（隔週）

カッターナイフも使ったことがない子が、1年後にはカッターナイフを自由に使いこなすことができるようになります。見ていて危なっかしい子もいますがそれも勉強。精密糸ノコで角材をカットしたり、厚紙を切ったり貼ったりして半年をかけて家の模型をしてもらいます。ミリメートル単位での精度を要求します。手を動かすことによって、脳が知らないうちに鍛えられます。また緻密さや最後まであきらめない気持ちが徐々に身についてきます。面倒くさがりのお子さんには特にお勧めです。



理科講座

⑫小学Entry理科（隔週）

小3～小5を対象としています。身の回りにも不思議なことがいっぱい。子どもたちの、なぜどうして？を大切にします。いろいろなことに興味を持つことで自然などに対する理解が進みます。実験や観察を授業の中心に据えます。自然から学んで欲しいことがたくさんあります。気を付けないと見逃しがちなことでも実は我々の生活に役立っているんだということを知ってもらえると思います。振り替えができます。

テキスト：「小学Entry理科（オリジナルテキスト）」（毎回配布）＋「理科便覧」

⑬小学High理科（隔週）

小5・小6を対象としています。イスに座ってテキストを進めるような退屈な授業ではありません。学校の授業でも使える、より実践的な内容です。密度の勉強のときは、実際に水にあるものを沈めてこぼれた水の体積をメスシリンダーを使って調べて、精密ばかりで質量を量って割り戻してもらったりします。化学、物理、生物、地学の各分野をすべての単元を網羅しています。振り替えができます。

テキスト：「わかるできる応用自在 理科（市販テキスト）」＋「理科便覧」



⑭中学理科（毎週）

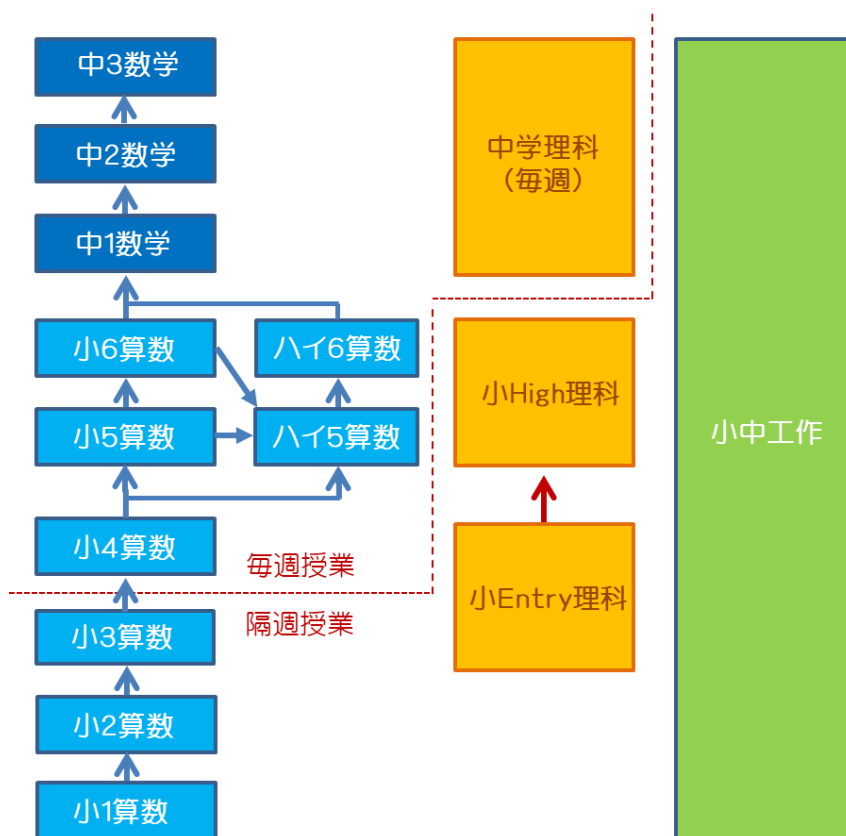
この講座は昨年から新設しました。きっかけは「先生、カメって背骨はありませんよね」の一言です。元素から始まって、原子・分子・反応の化学式、生物の分類、力学・熱学など、物理分野、化学分野、生物分野、地学分野のすべてについて、学校の定期ストに出そうな問題を中心に説明します。テキストはオリジナルの穴埋めテキストです。授業中に口に入る言葉をどんどん書いていただきますので、退屈している暇はないでしょう。
テキスト：「中学理科（オリジナルテキスト）」（毎回配布）

個別指導

⑭個別指導（随時）

「不得意な分野を補強して欲しい」などという場合にどうぞご利用ください。いちばん良い使い方は、「自分で問題を進めたけれどどうしてもこの先が分からない。ちょっとヒントをくれればできるかもしれない。ヒントが欲しいな〜」や「学校の先生の教え方が早すぎてノートを書いているうちにもう完全に分からなくなってしまった。どうしたことなのかちゃんとした説明が欲しい。」というケースです。すべて私が担当します。祝祭日や学校が休みの日、夏休みや冬休みなどご希望に沿います。内部生は4,320円/80分、外部生は10,000円/80分です。個別指導を無断欠席なされた場合は、受講料の返金はいたしません。

各講座の関連フロー



※お子さんのレベルにあった講座をお選びください。年度の途中でも、講座やクラスを変更していただくことができます。

授業の進め方

◎教えるのではなく、気づきのためのヒントを出すだけ

やり方を「教えてしまう塾」ではありません。高学年になると「①解法」という解法を紹介しますが、決して「①解法」でやらないとダメということでもありません。どのような方法でも良いと思います。それぞれに合った解き方でいいと思います。私は、授業中に出すヒントを極力最小にしようと考えています。自由な発想で考えることができる環境を作ります。

◎ミニミニテストによる定着率の向上

「小4算数」などについては、毎回授業開始の30分間、前回単元の復習「ミニミニテスト」を行います。自己採点方式なので、緊張せずにみんなリラックスしながらやってくれています。自宅でお母さんお父さんときちんと復習をしてくれている子が増えていて、嬉しいです。前回のノート見てもカンニングしてもOKとしています。

◎他人への思いやりを大切に！

自分さえ良ければそれでいい！では困ります。あまり気を遣いすぎるのも子どもとしてどうかと思いますが、常に他人のことを考えられる、良識のある子になって欲しいと願っています。授業中にお菓子を食べることを認めていますが、大量に持ってきたり他の人に分けたりするのは、やめましょうね！

入会金と受講料

入会金

入会金は税込10,800円です。ご兄弟がご在籍の場合、お2人目以降は無料といたします。退会後再入会の方が毎年数名いらっしゃいますので、3か月以内の再入会も無料としました。

受講料

算数、理科、工作ともにいずれも80分間1授業あたり税込4,320円です。

理科および工作の受講料には、教材費も含まれております。（欠席なさっても、教材費は返金できません）

受講費用は、口座からの自動引き落としのみ対応いたします。残高不足で引き落としができない場合は、翌月に追加で引き落としをさせていただきます。3か月間の受講料の引き落とし不可がありました場合は、お振込みをしていただきます。

引き落とし手続きのために、初回授業時に「預金口座振替依頼書」をご記入・ご捺印いただきます。ご提出から自動引き落とし開始までに2ヶ月半の調整期間がかかりますので、ご入会いただきました場合は、**入会金および初期3ヶ月分の受講料を振り込んで**いただきます。

詳しくは、ご入会後の最初のメールにてご案内いたします。

なお、入会后3ヶ月以内に退会なさる場合は当教室で妥当と判断した場合のみ、ご受講いただいている受講料は返金いたします。

初回授業までの流れ

「無料体験」申し込み～初回授業

- ① 齋田算数理科教室のホームページの「無料体験フォーム」からお申し込みください。折り返し「無料体験」授業日のご案内を差し上げます。
- ② 「無料体験」をしていただきます。
 - ※保護者は何名でもご出席いただけます。
 - ※各教科ごとに「無料体験」が可能です。
 - ※過去に「無料体験」をなさった方は、同じ教科の「無料体験」はできません。
- ③ 「無料体験」後1週間以内に、「ご入会」か「見送り」かのご連絡をください。
- ④ 「ご入会」連絡をいただきましたら、折り返し初回授業のご案内をメールで差し上げます。メールには、入会金および3ヶ月分の受講料を合算した金額を記載いたします。2回の授業迄にお振込みをお願いいたします。
- ⑤ 初回授業時に「預金口座振替依頼書」のご記入とご捺印をしていただきます。銀行印と預金通帳を忘れずにお持ちください。お取り寄せテキストが必要な講座は、テキスト代もご持参ください。
 - ※新小学問題集…1400円
 - ※ロジコテキストは、受講料に含まれております。

退会および講座停止のお手続き

退会をご希望の方は、メールにて退会の旨ご連絡をください。（口頭での退会受け付けはできません）ご連絡をいただいた日の翌月末日（齋田算数理科教室のカレンダーの月度に準じます）の退会として手続きさせていただきます。退会から3か月以内の再入会の場合は、休会なさっていた月数×1080円を休会手数料としてお支払いただきます。

講座停止の場合も、上記同様に翌月末日（齋田算数理科教室のカレンダーの月度）とします。

その他の制度やご案内

保護者の授業見学

お子さんが在籍している講座であれば、何名でも保護者のご見学が可能です。保護者テキストを準備している講座もございます。教室の後ろにフカフカのソファを2本入れました。コーヒーでも飲みながらどうぞご見学ください。いちばんうしろの机でメモを取っていただくのもOKです。

保護者の代理出席

お子さんが授業に参加できない場合は、保護者の代理出席が可能です。あらかじめメールでご連絡をいただけますと助かります。代理出席は月に何度でもどの講座でも可能です。

欠席・遅刻・早退

お子さんが授業に欠席もしくは遅刻される場合は、メールにてご連絡をください。体調不良などの早退は、もちろんこの限りではありません。事前連絡をいただいた場合に限り、夏休みや冬休み、祭日などに1対1でも欠席分の授業の「補講」を行います。夏休みおよび冬休みの「補講」可能日は全保護者に一斉開示し、早い順に埋めていきます。「補講」を無断欠席なされた場合は、「補講」をしたとみなします。

授業の振り替え

授業を欠席しなければならない場合は、まずは他のクラスへの振り替えをご検討ください。お振り替えは一か月に何度していただいても結構です。ただし、事前メール連絡をお願いいたします。

休講

地震や台風などの自然災害、電車の遅延運休、講師の体調不良などで授業ができない場合は、休講とします。出来る限り早いタイミングでみなさまにメール連絡するようにいたしますが、教室に来て鍵が開いていない場合は、そのままお帰りください。後日、代替授業日を設定するか、受講料を返金させていただきます。

自習

教室が鍵明けされていれば、学校帰りなどに教室に寄って自習スペースで自習をしていただくことができます。祝祭日、夏休み、冬休み中も教室を自習スペースとして解放することもございます。また私が暇そうにしていたら、分からない問題を持って来てください。

学年レス

小6だけど「小4算数」を受講していただくなどが可能です。自分に合った講座を自由にお選びください。小1の生徒が小3の授業を受講したいという場合も受け入れはできますが、漢字が読めないなどは対応できませんので、その点をご承知おきください。

テキスト忘れ・筆記用具忘れ

テキスト忘れは不思議にあまりありません。うっかり忘れてきてしまった場合は、いちばん前に座って、私のテキストを見ながら授業を受けてください。筆記用具忘れの場合は、補助筆記用具を貸し出しします。必ず返却して帰ってください。

宿題

宿題の提出義務はありません。が、単元表を基に家で復習をやっていただいている子が増えました。一生懸命にやったノートがあれば店に来てください。コメントをします。どうしても宿題を出してほしいという場合には、単元表に則った宿題を出します。

予習と復習について

予習はお薦めしません。予習をして自力でできてしまった問題は軽視して、授業中に説明を聞かない傾向が高いからです。もっとスムーズに問題が解ける方法を聞き逃してしまっては来ていただいている意味がなくなってしまいます。ただし、復習には時間を割いてください。復習は知識の定着になります。「ちゃんと復習をしたら先生が見てくれるってよ!」と誘導していただいても結構です。「ミニミニテスト」がある講座では、復習が必要になります。

テキスト代金

「お取り寄せテキスト」の場合、初回授業時にテキスト代をお持ちください。テキスト代と引き換えにテキストをお渡しいたします。初回授業時に代金をお持ちください。

※新小学問題集・・・1400円

※ロジコテキストは、受講料に含まれております。

授業中について

- ・ほかの人に迷惑をかけるような行為は慎みましょう。
- ・お菓子や軽食、飲物などの飲食が可能です。（ただし、お菓子の交換会は禁止）
- ・発言は自由です。挙手、起立は不要です。（ただし答えを先に言うてしまうのはダメです）
- ・指名することはありません。（「やりたい人？」と前に出てきてもらうことはあります）
- ・トイレに行きたくなったら、どうぞそ〜っと行ってください。
- ・ノートを几帳面に書くことはやめましょう！（黒板の撮影はOKです）
- ・ゴミはきちんと分別して、ゴミ箱に捨てましょう。
- ・ジュース等をこぼしたら、自分で掃除をしましょう。

みなさまと教室とのご連絡について

メール連絡が基本です

欠席、遅刻、早退、振り替え、代理出席などのご連絡はメールでお願いいたします。

アドレスはパソコンと携帯電話の最低2つをご登録ください

最近、メールの不着の障害が多発しています。原因は分かりません。自宅のパソコンアドレス2つ+携帯電話のアドレスの計3つをご登録いただくのが理想です。モバイル環境に緊急連絡をすることがございますので、外出先でもメールが見られるようにしておいてください。

授業中は、電話が取れません

教室には固定電話がありますが、授業中は電話に出ることはできません。土日は休み時間以外は電話に出られません。平日は（水曜日を除く）16時以降でない classroom におりません。

個人情報変更時は必ずご一報ください

お引越しや携帯電話の買い替えなどで住所やアドレスが変わる場合は、必ずその旨ご連絡をください。変更登録いたします。

メールアドレス： mail@sansu-rika.com

電話番号： 03-5577-6905 / 090-6309-3000

住所： 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2
小川町KSビル5階

ホームページ： <http://sansu-rika.com>

齋田算数理科教室

2018年度 入会規約

入会申し込みと入会金について

「無料体験」後、必ず1週間以内に「入会」もしくは「見送り」のメールをお送りください。ご入会いただきました方には、初回授業の日程や準備いただくもののご連絡を差し上げます。合わせて、入会金と初期3ヶ月分の受講料の総額と振り込み先をご連絡いたします。ご連絡後、2週間以内にお振り込みください。

受講料のお支払いについて

4ヶ月目以降の受講料は、銀行引き落としとさせていただきます。初回授業時にご記入ご捺印いただきました「預金口座振替依頼書」に従いまして、銀行で引き落としを行います。残高不足などで受講料の引き落としができなかった場合は、翌月に合算して引き落としをさせていただきます。3ヶ月連続して引き落としができない場合は、お振り込みをしていただきます。

登録内容の変更の場合

携帯電話の買い替えによるメールアドレスの変更や、お引越しなどでご住所や電話番号、学校などが変更になりました場合は必ずお知らせください。

アレルギーおよびPTSDの調査について

理科授業で実験・体験をしていただく際に、アレルギーをお聞きすることがございます。お子さんおよび保護者に特定のアレルギーがあることが事前に分かっていたり、「PTSD（心的外傷後ストレス障害）」であることが分かっていたら、予めその旨をお知らせください。十分に留意し、授業を行います。

授業中および通塾途上での事故の場合

齋田算数理科教室では、塾保険に加入しております。教室での怪我だけでなく、通塾途上で発生しました事故にも対応しております。怪我などの事故につきましては、できるだけ早めにお知らせください。

個人情報の取り扱いについて

いただきました個人情報は厳重に管理し、目的外使用はいたしません。ある学年に同じ学校の生徒がいるかないか程度であれば、お答えできますが、他のお子さんの学年・性別・在籍クラスなどのご質問につきましては一切お答えできません。教室内および野外での講座に参加いただいた写真をホームページに掲載する場合は、掲載後に削除をお申し出いただけましたら削除いたします。